

平成 30 年度 海洋スポーツセンター事業計画書

海洋スポーツセンター長 中村夏実

I. 年度計画・目標

1. 海洋スポーツの普及を目的に、かつ平成 29 年度の満足度調査をふまえ、関連公開講座、学長杯オープンヨットレースを開催する。
2. 地域振興を目的に、地域海洋スポーツ関連事業に協力する。
3. 各事業において参加者数と満足度を調査し、地域ニーズを把握する。
4. セーリング競技等における競技力向上に関する合宿を開催する。
5. 協力者会議を開催し、年度を総括するとともに、海洋スポーツ研究第 24 号を発刊する。

II. 事業計画（各事業の担当当事者名／実施期間）

1. 教育（授業に関するものを除く）プロジェクト

- (1) 海洋スポーツ活動のための指導者育成（担当 中村／平成 31 年 1～3 月）

自然体験活動指導者（NEAL リーダー）資格取得講習会の開催

- (2) 公認スポーツ指導者育成（担当 榮樂／平成 31 年 1～3 月頃）

競技別指導者資格・指導員・セーリングの認定講習会を開催

- (3) 小型船舶免許取得講習会の開催

学内教職員・学生を対象とし、希望者 5 名 以上の場合に実施

- (4) 高須小学校との合同授業（担当 中村／平成 30 年 5 月～6 月の金曜日 3・4 時限目）

高須小学校の総合学習の時間と、競技スポーツ論・実習ⅡⅢの授業を合同で実施する。競技スポーツ論・実習Ⅲの受講学生が指導案を作成し、児童に指導する形式をとる。

2. 研究プロジェクト

- (1) 生涯スポーツとしての SUP（スタンドアップパドルボード）が体力に及ぼす影響

（担当 中村・榮樂／平成 30 年 通年）

海洋スポーツ活動のうち特に SUP を対象とし、海上でボードの上で立つて行う運動であることから、下肢がトレーニングされる融考えられることから、愛好者とそうでない者との筋力に与える影響について調査する。

- (2) カヌースプリント競技におけるパワーの評価方法について（TASS 複数年継続課題）

（担当 中村／平成 30 年 通年）

カヌースプリント選手のパワーの評価方法を検討するため、エルゴメーターを用いたパワーテストプロトコルの検討をする。パワートレーニングプログラムの立案に資することを目的とし、メディシンボール投げやその他トレーニングにおいてパワーをより強く反映する種目やその動作の特徴を明確する。

- (3) セーリング競技における指導者用テキストの作成（担当 榮樂／平 30 年 通年）

セーリング競技におけるジュニア・ユース選手へ向けた選手用テキストを作成する。具体的には艇の準備・セッティングから、基礎および応用技術習得のためのポイントを整理していく。

3. 社会連携・社会貢献関係プロジェクト

- (1) 学長杯オープンヨットレース（主担当 榮樂・坂口・中村／平成30年8月下旬を予定）
学長杯オープンヨットレースにて、ヨットレースに加え、他種目（カヌー、スタンドアップパドルボードなど）レースまたは体験会を実施する。
- (2) カノヤカップヨットレース大会協力
（主担当 榮樂・坂口・中村／平成30年8月下旬、学長杯の前日を予定）
鹿屋海洋スポーツクラブが主催するヨットレースへの運営協力、およびレース終了後の講習会（実技指導等）を企画する。
- (3) 公開講座（中村・榮樂・坂口）
 - ①公開講座A：楽しいスキндаイビング（初級者編）
（主担当 中村・榮樂・坂口／平成30年5月9日（水）～6月24日（日））
プール7回（水曜日19時～21時）、海1回（日曜日9時～16時）で、計8回の講座を企画する。安全に楽しくスキндаイビングを実施するための知識と技術を習得することを目的とし、講座終了後、参加者自身でマリンスポーツを楽しめるようになることを目指す。
 - ②公開講座B：楽しいマリンスポーツ
（主担当 榮樂・中村・坂口／平成30年4月15日（日）～5月27日（日））
半日講座を4回および1日講座を1回で、計5回の講座を企画する。ヨットやカヌーを中心とし、警官の浅い者が、安全で楽しく継続した活動を行うために必要な知識と操船技術を学ぶことを目的とする。講座終了後、参加者自身でマリンスポーツを楽しめるようになることが理想で、参加者・応援者として活動が出来るような活動場所を推薦する。
 - ③公開講座C：「SUP 健康教室」
（主担当 中村・榮樂・坂口／平成30年6月27日（水）～9月26日（水））
毎週水曜日夕方の正味1時間程度の健康運動教室とし、前後で筋力測定を実施する予定。対象者は、SUP経験のない中高年齢者（45歳以上）とし、健康増進効果の研究的データの収集と、安全対策および活動マニュアル作りの資料を得ることも背景におく。
 - ④公開講座D：少年少女海洋スポーツキャンプ
（主担当 中村／平成30年7月24（火）～26日（木））
安全に楽しく海浜活動・海洋スポーツ活動を行い、海洋スポーツの基礎技術の習得と磯観察等による環境学習を行う。仲間づくりや仲間とのコミュニケーションの取り方を経験する機会を提供する。
- (4) 教職免許更新講習会（主担当 中村／平成30年7月下旬～8月上旬）
バレーボール（午前中）、海洋スポーツ（午後）の時間割で、中学・高等学校教員を対象とした講座を実施する。
- (5) マリンフェスタ in かのやへの協力
（主担当 中村・榮樂・坂口／平成30年7月15日（日） 予定）
マリンスポーツ部門におけるイベントの企画・実施・運営を担当する。主な種目は、ヨット、ウィンドサーフィン、カヌー、スタンドアップパドルボードの4種目であり、ヨット部、ウィンドサーフィン部、カヌー部、ボート部学生の協力を得る。

(6) 大隅青少年自然の家との事業協力 (主担当 中村・榮樂/平成30年 通年)

相互に、海洋スポーツ用具の使用および事業展開における人的交流をはかる。大隅青少年自然の家の海洋スポーツ関連事業に関する人的協力には、学外スポーツ実習への対応をしていただけるよう調整中である。

4. その他

(1) 協力者会議の開催 (主担当 中村・榮樂/平成30年12月3日(月) 予定)

SUPを題材としたテーマで、特に研究プロジェクトの(1)「生涯スポーツとしてのSUP(スタンドアップパドルボード)が体力に及ぼす影響」または、社会連携・貢献プロジェクト(1)「学長杯オープンヨットレース」におけるSUP評価などを総括する予定である。

(2) 競技スポーツにおける強化合宿への協力 (主担当 榮樂/中村)

セーリング競技における競技力向上のための合宿に協力する。現在のところ、開催の有無は決定していない。

(3) 外部団体海洋スポーツ実習の受け入れ

業務に支障のない範囲で、教育団体と主とした外部団体の海洋スポーツ実習を受け入れる。その際、学外スポーツ実習の場として活用できることを条件とする。現時点で確定している事業は以下のとおりである。

① 鹿児島南高等学校体育課2年次野外スポーツ実習(海洋スポーツ)

(主担当 中村/平成30年9月20日(木)・21日(金)を予定)

Ⅲ. 予算計画

海洋スポーツセンター経費 2,376,000円

区分	金額	算出内訳
謝金	60,000	講師謝金 (@15,000円×2時間×2名)
旅費	440,000	鹿屋-東京 60,000×4回(職員) 未定 100,000×2回(協力者会議講師)
消耗品費	685,000	船艇等修繕にかかる消耗品
印刷費	300,000	報告書作成(海洋スポーツ研究)
賃金	96,000	学生バイト (@800円×120時間)
その他	795,000	修繕費, 燃料, 通信費